

## I. 広東省

### 1 2019年の雇用対策に208億元

●14日、広東省人力資源・社会保障庁は、「就業促進9条」の実施に向け、208億元を投じると発表した。2018年の広東省の都市登録失業率は2.41%だった（15日付「南方日報」6面）。

### 2 広東省の学部新卒者平均初任給は4,522元

●広東省教育庁の発表によれば、2018年の高等教育機関の新卒者の平均初任給は4,071元で前年比10.48%増だった。そのうち、院卒の平均初任給は7,693元、学部生の平均初任給は4,522元、専科卒の平均初任給は3,362元だった（18日付「広州日報」18面）。

### 3 2018年の反腐敗にかかる処分

●省紀律検査委員会・監察委員会によれば、2018年に省紀律・監察機関が受理した告発件数は9万2,600件だった。そのうち、立件した件数は2万600件で、2万1,281名が処罰された。そのうち、局長級幹部が149名、県処級幹部が1,161名、郷科級幹部が3,333名、一般幹部が3,191名、農村・企業等その他人員が1万3,445名だった（19日付「広州日報」4面）。

## II. 広州市

### 1 広州市第15期人民代表大会第4回会議が開幕

●15日、陳建華・市人代主任主宰の広州市第15期人民代表大会第4回会議が開幕し、温国輝・広州市長が政府活動報告を行った（16日付「広州日報」1面）。

## III. 深セン市

### 1 深セン市で全国初となる5Gによる4K映像の伝送テストの実現に成功

●13日、中央広播電視台は、中国移動（チャイナ・モバイル）とファーウェイ（華為）と共同で行った5Gによる4K映像の伝送テストを成功させた（14日付「南方日報」2面）。

### 2 深セン市に全国初の破産専門裁判所が設立

●14日、深セン市に全国初の破産申請案件を専門に扱う「深セン破産法廷」が

正式に発足した。「深セン破産法廷」創設の目的は、深セン市のビジネス環境改善に加え、広東・香港・マカオビッグベイエリア建設のための司法サービス充実と保障である。(15日付「南方日報」1面)。

### 3 深セン市で全国初の携帯電話を使った5G通話テストを実施

●17日、南方日報の記者が得た情報によれば、全国初となる5Gの携帯通話を使った通話テストが深セン市で実施された。本件テストは、広東聯通と中興通迅(ZTE)が共同で行った(17日付け「南方日報」8面)。

### 4 深セン—テルアビブ(イスラエル)間の直行便が2月から就航

●海南航空の発表によれば、深セン—テルアビブ間の直行便が2月22日に新規就航する。月曜日と金曜日に毎週2便就航する(18日付「深セン特区報」12面)。

### 5 2018年の深セン市の実質GDPが2.4兆元を突破

●18日、深セン市第6期人民代表大会第7回会議が開幕した。陳如桂・深セン市長は政府活動報告を行い、2018年の深セン市の名目GDPは2.4兆元を突破し、前年比7.5%増だったと述べた(19日付「広州日報」8面)。

## IV. 福建省

特になし。

## V. 広西チワン族自治区

### 1 梧州西江空港がまもなく開港

●14日、広西日報の記者が梧州西江空港から得た情報によれば、同空港が1月23日に開港することとなった。梧州—北京間が初就航の便となる(15日付「広西日報」8面)。

(当館注)梧州市は、広西チワン族自治区東部に位置し、東に広東省肇慶市や広東省雲浮市に接している。

### 2 南寧—玉林間の城際鉄道が着工

●15日、南寧—玉林間の城際鉄道建設プロジェクトが始動した。最高速度は350キロを目標に設計され、総延長距離は南寧東駅から玉林北駅までの193.14キロメートル。総投資額はおよそ350億元。3年での完成を目指す。同プロジェクトは、南寧市から玉林市を経て深セン市までを繋ぐ重要なプロジェクトとなる

(16日「広西日報」1面)。

VI. 海南省

特になし。

(了)